

# 授業や学生の自立的学習を 図書館がサポートします！

## シラバス作成～授業準備

### 参考書の掲載 ≫資料

シラバスに掲載された参考書は、中央図書館で購入します。  
※中央図書館の備付け学習用図書として購入を推薦する制度もあります（随時受付）。

Web サイト > 

### 施設の予約 ≫施設・設備

授業での施設利用の予約も受付けます。学術資料にすぐにアクセスできる環境で、授業形態に応じた施設を利用できます。

※予約可能な施設は裏面参照

### 講習会の申込み ≫サポート

授業内でご希望の日時に「オーダーメイド講習会」を実施します（要予約）。

Web サイト > 

## 授業の実施・補完

### 施設を利用しての授業 ≫施設・設備



セミナー室ではPCを使う演習が可能です。机付きの椅子を自由に動かせるオープン/セミクローズドスペースもあります。プロジェクタを使っての発表やディスカッションなどの参加型授業にご利用ください。

### 講習会※別紙参照 ≫サポート

- ・TA 向け研修会
- ・オーダーメイド講習会など、様々な内容で開催します。

参照：名古屋大学附属図書館  
情報リテラシー基準



## 学生の授業準備・課題解決

### グループ学習, 発表練習 ≫施設・設備

PCやホワイトボードを使って協同で課題に取り組むことができます。グループ内・グループ間で刺激を受けることで、学習効果の向上につながります。学生の時間外学習の促進に、図書館内の学習スペースをご活用ください。



### レポート作成・学習に関する相談

#### ≫サポート

大学院生スタッフが学習を支援します。  
(日本語・英語・中国語で対応)

レポートの書き方についてのミニ講座や相談会、英語でのディスカッションなどをスタッフが企画して実施します。

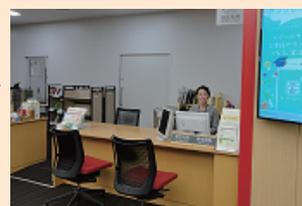


### 文献調査に関する相談

#### ≫サポート

図書や論文の探し方、データベースの使い方、資料の入手など、授業の課題やレポートの資料探しをサポートします。

「検索してもうまくヒットしない」「この本はどこで読める？」など、困ったときにはご相談ください。



### 豊富な資料・データベース ≫資料

附属図書館では、約335万冊の資料と、論文・辞書・事典・新聞記事など多数のデータベースをそろえています。インターネットだけに頼らない、学術的な文献調査のご指導にお役立てください。

例) JapanKnowledge Lib (百科事典・各種辞典), 理科年表, 新聞各紙データベースなど

## グループラーニングエリア

グループ学習のための空間です。プレゼンの練習、自主ゼミ・読書会などにも。

- ・移動可能な机/椅子：100席
  - ・ホワイトボード
  - ・プロジェクター
- (利用申込：サービスデスク)



グループラーニングエリア

## ディスカバリスクエア

机付きの椅子を自由に移動できるオープンスペースです。発表、ディスカッションを取り入れる授業に。

- ・移動可能な机付き椅子：55席
- ・ホワイトボード
- ・プロジェクター

**要予約**



ディスカバリスクエア

## 多目的ラーニングエリア (100席)

PC利用、個人学習など自主的な学習の場です。

多目的ラーニングエリア



## サービスデスク 平日 8:30-17:00

文献調査・取り寄せに関する相談窓口です。

## サポートデスク 平日 15:00-19:00

大学院生のサポートスタッフが学習に関する相談に応じます。

**要予約**

の施設利用はサービスデスクのほか [eturan@nul.nagoya-u.ac.jp](mailto:eturan@nul.nagoya-u.ac.jp) でも受け付けています。

## ライティングサポートエリア (50席)

レポート・プレゼンの作成、PCでの共同作業ができます。

- ・画像ソフト (Adobe) 利用可
- ・ライティング関連図書

ライティングサポートエリア



セミナー  
ルーム  
A

## セミナールーム A・B **要予約**

全席にPCが設置されています。予約のない時は自由にPCが使えます。

- PCを使った演習型授業に。
- ・A：25席 (うち講師用1席)
  - ・B：13席 (うち講師用1席)
  - ・ホワイトボード
  - ・プロジェクター



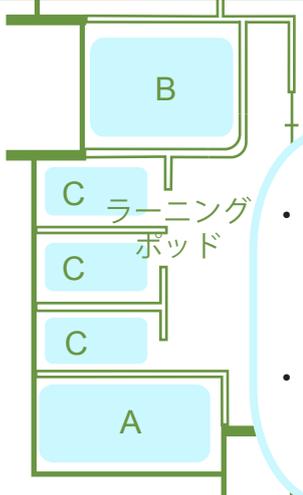
## ラーニングポッド A・B・C

- ・A：18席, B：16席
- 移動可能な机付き椅子, ホワイトボード, プロジェクター

**要予約**

- ・C：各5席
- ホワイトボード, PCモニター
- 2名以上で利用可能 (予約不要)

## 3階ラーニングポッド



# 基礎セミナーをサポートする 2019 年中央図書館講習会

## TA のための資料探索指導法研修会

「基礎セミナーA」TAの勤務時間数33時間のうちの3時間は、

- ・中央図書館が開催する「資料探索指導法研修会」の受講 : 1.5時間
- ・基礎セミナーAの受講生への「図書館利用説明会」の実施 : 1.5時間

となっています。

⇒「資料探索指導法研修会」は、図書館の利用法および基本的な資料探索法を指導できることを目標に構成しています。

⇒受講生への指導については、担当の先生と相談して、実施時期・内容・方法等を決めるよう案内しています。

※詳しくはこちらから



<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/iteracy/ta.html>

### 目標

- ・中央図書館の活用法を知る
- ・授業で紹介された図書を探せるようになる
- ・サポート情報を得る

## 基礎セミナー向けオーダーメイド講習会

授業の計画や内容に応じて、基礎セミナーのクラスごとに開催します。

### ① 文献スキル編

#### 目標

- ・一つの主題について文献調査をする際の流れを知る
- ・適切なキーワードを用い、調査の目的に適した資料を選択することができる
- ・図書館の情報資源とサービスを活用し、必要な文献を入手することができる
- ・情報の利用とアクセスに関するルールを理解し、正しく利用することができる

### ② アカデミックスキル編

#### 目標

- ・資料の内容を理解するだけでなく、何をどのように論じているかを分析し、見解や立場の合理性を評価できる
- ・資料やデータを正確に用いて、問いやテーマに沿った論理的なレポートを書くことができる
- ・論理的な発表や理解を深める質問を行い、議論を進めることができる
- ・質問紙や面接による社会調査を企画・実施し、結果をまとめることができる

## 中央図書館開催のミニ講座

図書館職員や大学院生のスタッフが、1年生の学習に必要な基本スキルを伝えます。

4～6月は「基セミスタート！これだけ講座」と「リサーチがはかどる！ちょい足し講座」を開催いたします。

#### 目標

- ・レポートの書き方の基本を知る
- ・レポートやプレゼンに必要な PowerPoint、Word、Excel の機能をマスターする





# おすすめモデル (文献スキルの場合)

コンテンツ選択例です。その他お好きな組み合わせでお申し込みください。

## Sample 1 図書を探せるようになる！

OPACでの検索方法や、図書の選び方など図書館での資料探しの基礎を学べます。

- 資料が必要となるステージ (5分)
- 基本知識を得る (10分)
- 図書を探す (30分)
- (オプション) 図書の選び方・読み方 (15分)
- 情報を正しく利用する (10分)

**必ず両方メモ!**

【配置場所】  
・書架があるおおよかな場所  
 (「中央〇〇」=中央館所蔵)  
・クリックすると地図表示

【請求記号】  
・図

**70分**

**図書を選ぶ**

評価のポイント

- 奥付**
  - 出版年:なるべく新しいものを選ぶ
  - 著者:その分野の研究者か
  - 版:改版を重むている
- 序文**
  - 目的や対象を確認
- 目次**
  - 概略をつかむ
  - 必要なトピックを探す
- 索引**
  - 用語の確認(次の手がかりに)
- 参考文献**
  - 次に読むべき文献、基本的な文献がわかる
- その他**
  - 多くの人が引用している
  - よく使われている

余った時間をTAツアーに充てることも可能!

## Sample 2 論文を探せるようになる！

新入生には馴染みの薄い、学術論文の探し方や選び方を中心に学べます。

- 資料が必要となるステージ (5分)
- 基本知識を得る (10分)
- 図書を探す (20分) ※カスタム
- 論文を探す (25分)
- (オプション) 論文の選び方・読み方 (15分)
- 情報を正しく利用する (10分)

**85分**

**CiNii Articlesで論文を探す**  
本文PDFあり

論文タイトル

インターネット使用と情報活用の実践力の因果関係:中学生に対する3段階モデル研究  
著者名

掲載雑誌の情報

**論文を選んで読む**

評価のポイント

- 書誌情報**
  - 出版年:新しいもの(例外:古典・基本)
  - 雑誌・著者:研究分野内での評価
- 抄録**
  - 内容の概略をつかむ
- キーワード**
  - 必要なトピックを探す
  - 用語の確認(次の手がかりに)
- 参考文献**
  - 参考文献がない→学術論文ではない
  - 次に読むべき文献を探す
- 引用関係**
  - 多くの人が普及・引用している
- 内容**
  - 論理性、中立性、多様性、科学的根拠
  - テーマの注目度、切り口の独自性

書架に行く時間を削るなど、コンテンツのカスタマイズが可能!ご相談ください。

## Sample 3 図書も論文も!よくばりコース

実習を交えながら、OPACでの図書の探し方やCiNii Articlesでの論文の探し方、それぞれのコツもじっくり学べます。

- 資料が必要となるステージ (5分)
- 基本知識を得る (10分)
- 図書を探す (30分)
- 論文を探す (25分)
- 情報を正しく利用する (10分)

**80分**

**新聞記事データベース**

1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000

掲載(年)で絞り込む(検索)

1931 大正14年 雑誌 (雑誌)

1931 大正14年 雑誌 (雑誌)

1931 大正14年 雑誌 (雑誌)

**正しく引用する**

- 「コピペ論文」はなぜいけない?
  - 他人の著作権の侵害
    - 盗作・剽窃
    - ＝他人の文章を自分のオリジナルに見せる
  - 研究者倫理に反する行為
    - 先人の業績への敬意

→正しく引用すれば、  
・自分の主張の根拠になる、客観性・説得力が増す  
・自分の主張のオリジナルな点が際立つ

授業内容に沿ったキーワードで講習を進めることも可能です。事前にお知らせください。



2019年基礎セミナー向け

# オーダーメイド講習会

アカデミックスキル編

「課題を出す前に文章の書き方・読み方を教えたい」「1年生向けに基本的なデータの収集方法や、集めたデータのまとめ方を講習してほしい」・・・など、授業の計画や内容に応じて、基礎セミナーのクラスごとに開催する講習会です。

開催時間：平日 2～5 時限の時間帯

対 象：基礎セミナークラス

申込期限：年度中いつでも承ります

講 師：本学博士課程大学院生（教養教育院認定ティーチングアシスタント）  
または本学教員（高等教育研究センター・教養教育院）

内 容：下記のコンテンツからご希望に応じてお選びください。



- |                                                   |                                                      |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 議論を行う<br>(60分)           | <input type="checkbox"/> クリティカルリーディング<br>(60分)       |
| <input type="checkbox"/> レポート課題に備える<br>(60分)      | <input type="checkbox"/> プレゼンテーションを準備する<br>(60分)     |
| <input type="checkbox"/> 実験レポートを書く<br>(60分)       | <input type="checkbox"/> プレゼンテーション資料をデザインする<br>(60分) |
| <input type="checkbox"/> 質問紙でデータを収集する<br>(60分)    | <input type="checkbox"/> インタビューでデータを収集する<br>(60分)    |
| <input type="checkbox"/> 質問紙で集めたデータをまとめる<br>(60分) | <input type="checkbox"/> インタビューで集めたデータをまとめる<br>(60分) |

※各コンテンツの詳細については、以下の Web ページをご覧ください。  
高等教育研究センター HP「名古屋大学生のためのアカデミック・スキルズ・ガイド」  
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/asg/>



何か質問はありますか？と聞かれても何を話せばいいのだろう？

レポート課題が出てるけど、どう取り組めばいいの？

文献を読んできてと言われたけど、読んでも頭に入らない。

申込：申込フォーム 附属図書館トップページ &gt; 講習会

[http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/guidance.html#order\\_ac](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/guidance.html#order_ac)


内容に関するご相談：高等教育研究センター 内線：5696

E-mail：info@cshe.nagoya-u.ac.jp

その他お問合せ：中央図書館 情報サービス課 内線：3684

E-mail：service@nul.nagoya-u.ac.jp

## 名古屋大学附属図書館情報リテラシー基準

### ◆名古屋大学附属図書館における情報リテラシー教育の目標

名古屋大学附属図書館では、教養教育、専門教育において学生が主体的でアクティブな学習者となれるように、教員と連携し学生の情報リテラシー能力向上に努める。

そのプログラムの企画及び実施のために、国立大学図書館協会「高等教育のための情報リテラシー基準（ドラフト 2.1）」における情報リテラシーの定義及び情報リテラシー基準を参照しつつ「名古屋大学情報リテラシー基準」を策定する。

### ◆情報リテラシーの定義

情報リテラシーは、情報が必要なときにそれを認識し、計画的に情報を収集、評価、整理、管理し、情報を活用して効果的に発信することができる能力である。

なお、類似の概念として、ICT リテラシー、メディアリテラシー、ビジュアルリテラシーなどがあり、これらは扱うメディアと取り組む視点の違いにより独自の領域を持つ。

### ◆情報リテラシー基準

情報リテラシーを身につけた人は、次のフェーズからなるプロセスを経て情報探索行動を行う。これは必ずしも直線的な過程を取るものではなく、いくつかのフェーズを往復しながら進んで行き、最後の創造的活用・発信から新たなニーズ・課題の認識へと繋がる円環を繰り返していくことになる。それぞれのフェーズで求められる能力は、置かれている環境や情報探索者の保持する能力によって違い、次第に高いレベルへと移行していくことになると考えられる。

#### 第1フェーズ 情報ニーズ・課題を認識する。

情報ニーズを明確に示すことができ、必要となる情報の範囲を具体的に定めることができる。

- 1.1 課題を正しく認識する。
- 1.2 課題に対処するために必要となる情報を認識する。
- 1.3 現時点で持っている情報を認識する。

#### 第2フェーズ 情報の適切・効率的な探索を計画する。

情報ニーズを満たす情報を経済的、合法的、社会倫理的に適切で、かつ、効率的に探索する計画を立てることができる。

- 2.1 一般的に得られる情報の種類や特徴を理解する。
- 2.2 情報がどのように生成し、流通するかを理解する。
- 2.3 求める情報へのアクセスの方法及び入手を助けるサービスを理解する。
- 2.4 情報を探索する際の適法性、社会倫理への適合及び経済的合理性を理解する。

### 第3 フェーズ 情報を適切、効率的に入手する。

情報を入手する手段を活用して、情報ニーズを満たすために必要な情報を適切、効率的に入手することができる。

- 3.1 図書館や情報入手を手助けするサービスを効果的に利用する。
- 3.2 情報の種類に応じて、適切なアクセス手法や検索ツールを用いる。
- 3.3 必要な情報を探することができる検索スキルを身に付ける。
- 3.4 情報を正しく読み、情報ニーズに照らし合わせて取捨選択する。

### 第4 フェーズ 収集した情報を評価・分析し、整理・組織する。

情報ニーズを満たす情報を評価・分析し、適切なツールを使用して情報を整理・組織することができる。

- 4.1 収集した情報やデータを信頼性、関連性、正確性などの点から評価・分析する。
- 4.2 情報をそれに適した管理ソフトウェア等のツールを用いて適切に整理、記述し、活用できるように組織することができる。

### 第5 フェーズ 知識体系を再構築する。

情報を批判的に自らの知識体系に組み込み、知識体系を再構築することができる。

- 5.1 情報を自らの知識体系に照らし合わせ、批判的に組み込む。
- 5.2 新たな情報を組み込むことで、自らの知識体系を再構築する。

### 第6 フェーズ 情報を創造的に活用し、発信する。

情報を合法的、社会倫理的に適切にかつ創造的に活用し、発信し、情報を用いたコミュニケーションを行うことができる。

- 6.1 情報を利用する上で必要な法的な知識を持つ。
- 6.2 情報を発信する対象やコミュニティに相応しい形式を理解する。
- 6.3 情報を発信するために必要なスキルを持つ。